

活動報告

| | |
|------------|---|
| 団体名 | 公益社団法人日本社会福祉士会 |
| 活動名 | 西原村及び益城町の被災地住民の生活支援をするための活動 |
| 活動期間 | 2016年10月～2016年12月 |
| 活動の成果 | <p>日本社会福祉士会は4月16日に災害対策本部を立ち上げ、熊本県社会福祉士会と連携しつつ被災者支援活動に取り組んでまいりました。西原村の地域包括支援センターには6月13日から11月4日にかけて、益城町の西部圏域地域包括支援センターには8月29日から12月27日にかけて、常時2名の社会福祉士を派遣してきました。現地の地域包括支援センター職員の指示のもと、避難所や在宅者の安否確認から始まり、仮設住宅への移動が始まると、仮設住宅の訪問、声掛け、見守り、要保護援護者基本情報シートの作成や緊急性の有無のチェック、在宅者を訪問し台長作成や実態把握、訪問記録の作成等を行ってきました。地域包括支援センターには、発災後から暫くの間、平時の業務に加えて多大な業務が発生します。この時期における社会福祉士の派遣は現地職員にとって一助となったことと思います。地域包括支援センターの機能をバックアップし、その結果が地域住民の生活支援につながりました。そして時間とともに地域包括支援センターが被災後の混乱から本来業務に戻りつつある中、本会の社会福祉士派遣は終了し、その後のフォローアップを熊本県社会福祉士会に引き継ぎました。</p> |
| 寄付者へのメッセージ | <p>赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」助成事業の一次助成に引き続き、二次助成をいただけたことに感謝申し上げます。</p> <p>日本社会福祉士会の支援は専門職である社会福祉士を現地へ派遣するため、全国規模で活動支援者を募集し支援を行ってまいりました。また、熊本市に宿泊拠点及び仮設事務所を設け、中長期の継続的な支援が可能となるよう体制を整えました。現地の地域包括支援センターからは当初の予定より長く継続派遣の要請を受けました。本会の活動が地域住民のために役立っていることを示していると思います。これに応えられたのも、寄附金による助成を受けられたからこそです。</p> <p>この度、本会の支援活動は終了しましたが、支援を行った西原村地域包括支援センター、益城町西部圏域地域包括支援センターからは感謝のお言葉をいただきました。また、熊本県からは感謝状を授与されました。これも寄附金をいただき、支援活動が継続できたからであり、重ねて感謝申し上げます。</p> |

(活動のようす)

